

2026 年 8 月 17 日

各 位

会 社 名	株式会社リミックスポイント		
代表者名	代表取締役社長 CEO	高橋	由彦
	(コード番号：3825)		
問合せ先	経営管理部長	安武	明伸
	(TEL：03-6303-0280)		

株式会社ナピルとの業務提携に関するお知らせ (EMS を中核としたエネルギープラットフォーム構築に向けた提携)

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社ナピル（本社：東京都中央区、代表取締役：弯 志偉）（以下「ナピル」といいます。）との間で、将来的な資本提携も視野に入れた業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本業務提携の理由

当社グループは、電力小売事業、系統用蓄電池事業、FIP 電源の調達及び需要家向け蓄電池の販売など、総合的なエネルギー事業を展開しております。現在、当社は申請中の約 1,000 台規模に上る低圧系統用蓄電池の販売パイプラインをはじめ、多数の分散型エネルギーリソースに関する事業基盤の拡大を進めております。こうした事業基盤を持続的な収益成長につなげるためには、機器販売や自社保有資産から得られる収益に加え、導入後の遠隔制御、運用・保守、市場取引等を通じて継続的な収益を創出する事業モデルの構築が重要であると考えております。当社グループは、これらの機能を一体的に提供する「エネルギープラットフォーム」への進化を重要な成長戦略として位置付けております。

ナピルは、エネルギーマネジメントシステム (EMS) の開発等において高度な技術力を有しており、当社グループとは従前より蓄電池向け EMS の共同開発を進めてまいりました。その成果として、当社が提供する高圧用 EMS は JC-STAR 認証を取得しており、当社グループの系統用蓄電池及び需要家向け蓄電池事業におけるシステム基盤として活用しております。

本業務提携は、これまでの共同開発関係をさらに発展させ、EMS を中核に、クラウド基盤、遠隔制御、市場運用及び O&M（運用・保守）機能を統合することで、蓄電池の導入から運用・市場取引までを一体的に支えるエネルギープラットフォームの構築を加速することを目的としております。

まずは本業務提携を通じて事業シナジーの早期創出・具現化を図るとともに、より強固なパートナーシップの構築に向け、将来的な資本提携についても視野に入れ、両社で協議を進めてまいります。

2. 本業務提携の内容

- (1) 当社及びナピルが共同開発した高圧用 EMS を中核プラットフォームとして位置付け、系統用蓄電池及び需要家向け蓄電池への導入・展開を進めます。
- (2) 当社グループが有する設計・施工・販売機能と、ナピルが有する EMS・クラウド・遠隔制御技術を組み合わせ、蓄電池の導入から運用・保守、市場取引までを一体的に提供するシステムインテグレーション (SI) サービスの構築を目指します。
- (3) 低圧用及び家庭用 EMS の共同開発を推進し、分散型エネルギーリソースの統合管理及び将来的な市場運用への展開を目指します。

3. 相手先の概要（2026 年 3 月 31 日現在）

(1) 名称	株式会社ナビル	
(2) 本店所在地	東京都中央区銀座二丁目 15 番 2 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 穹 志偉	
(4) 事業内容	・ システムエンジニアリングサービス事業 ・ システム受託開発サービス事業 ・ クラウド基盤をベースとする開発・提供・保守・運用サービス事業 ・ エネルギーマネジメントクラウドサービス事業	
(5) 資本金	40 百万円	
(6) 設立年月日	2017 年 1 月 18 日	
(7) 発行済株式数	500 株	
(8) 決算期	3 月末日	
(9) 大株主及び持ち株比率	穹 志偉 100.0%	
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社グループと蓄電池向け EMS の共同開発を行っております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(11) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態につきましては、同社は非上場会社であり財務情報を公表しておらず、また事業上の機密を含むことから、同社の意向により非開示とさせていただきます。	

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 8 月 17 日
(2) 本業務提携契約書締結日	2026 年 8 月 17 日
(3) 本業務提携開始日	2026 年 8 月 17 日

5. 今後の見通し

当社グループは、本業務提携を通じて、EMS 技術の中核とした蓄電池の販売・保有・制御・運用を一体化するエネルギープラットフォームの構築を加速してまいります。ナビルが有する EMS 技術、クラウドアーキテクチャ設計及び運用ノウハウを活用することで、機器販売等のフロー型収益に加え、導入後のシステム利用、運用支援等による継続的な収益機会を拡大し、ストック型収益の積み上げによる収益基盤の強化を目指します。

本業務提携が 2027 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。一方、中長期的には、EMS を活用した蓄電池案件の拡大、SI 機能の高度化及び外部事業者向けソリューションの展開等を通じて、収益基盤の強化及び企業価値の向上に資するものと考えております。

今後、共同開発した EMS を基盤として、系統用蓄電池、需要家向け蓄電池及び分散型エネルギーリソースへの展開を進め、エネルギープラットフォーム事業の拡大を図ってまいります。

公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上